

Agilent 2100 Bioanalyzer 技術講習会

サンプルQCツールとしての活用法

最近では様々な遺伝子発現解析技術やゲノム解析技術が生み出され、それぞれにユニークなデータが得られる時代になりました。どのような実験でも確実なデータを得るためには、また結果の解釈を正しく行うためには、サンプルであるDNAやRNAの品質チェックが非常に重要です。

本セミナーでは使用するサンプルの品質確認方法、サンプルの品質が及ぼすデータへの影響を次世代シーケンス、マイクロアレイ、リアルタイムqPCRのデータを例にご紹介いたします。

[日時] 2018年4月26日 (木) 14:00-16:00

[場所] 理研BDR 発生・再生研究棟 C棟 4階 S401

[講師] (株) アジレントテクノロジー 津本 裕子

[スケジュール]

- ◆ 13:45 開場
- ◆ 14:00-15:00 レクチャー
- ◆ 15:00-16:00 デモ (BDRメンバー限定)

[所内イベントコード] H30E01



参加される方は右記のURLから事前登録をお願いします。(4月20日締め切り)

レクチャーについてはどなたでもご参加いただけます。

デモへの参加はBDR所属の方に限ります。

URL : <http://bit.ly/2GFKJOW>

* 理研以外の方につきましては、発生・再生研究棟A棟1階にて入所受付をお願い致します。

お問い合わせ先 :

(主催) 株式会社アジレントテクノロジー

担当者 松本 知人

tomohito_matsumoto@agilent.com

(共催) 理化学研究所BDR 分子配列比較解析ユニット

担当者 阿部加奈、辰見香織

078-306-3048、gras-contact@riken.jp

